別紙５

広島市ごみ処理施設ごみ計量システム等更新事業特定基準

１　受託候補者の特定方法

本事業への応募者資格等があると確認された者から提出される提案書について審査･評価を行い、評価点を与える。評価点が最も高い者を受託候補者とする。

２　評価方法

（１）評価項目及び配点

別表のとおりとする。

（２）定性評価について（別表の該当項目：【１】～【５】、【８】）

評価は、次の５段階により行う。評価項目ごとの評価点は、広島市ごみ処理施設ごみ計量システム等更新事業プロポーザル審査委員会に出席した委員の採点結果を平均して算出することとし、小数点第３位以下を四捨五入し、小数点第２位までを求める。

評価	判　断　基　準	点　数　化
A	提案について、工夫が極めて優れている	配点×1.00
B	提案について、工夫が優れている	配点×0.75
C	提案について、工夫が見受けられる	配点×0.50
D	提案について、必要な仕様は満たしているが、工夫が限定的である	配点×0.25
E	提案について、必要な仕様は満たしているが、工夫が見られない	配点×0.00

（３）定量評価について（別表の該当項目：【６】～【７】）

評価は次式により行う。評価項目ごとの評価点は、小数点第３位以下を四捨五入し、小数点第２位までを求める。

ア　【６】地域経済の活性化

市内に本店を有する　５点

市内に支店を有する　３点

市内に本店、支店を有さない　０点

イ　【７】経済性

$$\left(\frac{\text{最低の応募価格を提示した応募者の応募価格}}{\text{応募価格}} \right) \times 30$$

別表　評価項目及び配点

No.	評価項目	配点	評価基準・評価の視点	評価方法
【1】	事業実施計画	10	・事業実施体制が充実しているか。 ・事業完了までのスケジュールが具体的に示されており、妥当で無理・遅延はないか。	【定性評価】 ・A～Eの 5段階評価
【2】	更新設備の性能・信頼性・保証	10	・システム障害や機器故障が発生した場合において、業務が停止することなく運用できるよう冗長性を確保した構造となっているか。 ・更新する機器について、将来的な部品供給が確保されており、安定的な運用が可能な製品となっているか。 ・更新する設備について、適切な保証期間が提案されているか。	【定性評価】 ・A～Eの 5段階評価
【3】	システムの機能性	15	・使用者が使いやすいシステムになっているか。 ・将来的な改修に際し、特定事業者へ依存することが無く円滑にシステム改修を実施できるように配慮がされているか。	【定性評価】 ・A～Eの 5段階評価
【4】	施工計画	10	・各施設の運営状況や現場条件を踏まえ、ごみ搬入を停止することなく、各施設の計量機及び計量システムの更新を実施できる実現性の高い施工計画となっているか。 ・業務期間中において、計量システム及び計量機に不具合が発生した際の支援体制並びに運用開始に伴う教育・研修の内容が適切に提案されているか。	【定性評価】 ・A～Eの 5段階評価
【5】	保守内容・保守体制	15	・保守において、適切な保守体制がなされた保守計画が提案されているか。 ・システム障害等が発生した際に、早期に復旧できる体制や対策が提案されているか。 ・保守内容が適切であり、経済性に優れた提案となっているか。	【定性評価】 ・A～Eの 5段階評価
【6】	地域経済の活性化	5	・提案者が市内に本店または支店を有しているか。 市内に本店を有する　5点 市内に支店を有する　3点 市内に本店、支店を有さない　0点	【定量評価】
【7】	経済性	30	計算式 $\left(\frac{\text{最低の応募価格を提示した応募者の応募価格}}{\text{応募価格}} \right) \times 30$ ・経済性の高い提案がなされているか。	【定量評価】
【8】	その他有効な提案	5	・独自の工夫やノウハウ等を活用し、本市が求める機能以外に、提案額の範囲内でより効果的となる提案がなされているか。	【定性評価】 ・A～Eの 5段階評価
	評価点の計 （満点）	100		